

体協キャラクター
たちえもん たちみちゃん

スポーツ たちかわ

(特非)
立川市体育協会

〒190-0015 立川市泉町786-11

泉市民体育館内

TEL・FAX 042-534-1483

発行責任者 河内 勝正

編集責任者 木戸口 辰雄

e-mail bz821830@bz04.plala.or.jp



新年のご挨拶



立川市長

清水 庄平



新年明けましておめでとうございます。貴会会員の皆様には、日頃から本市のスポーツ振興に深いご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。一年を通してスポーツに対する人々の関心はますます高くなっており、本年も正月の風物詩となっている箱根駅伝が行われました。テレビの前で各選手の頑張りに声援を送った市民の方も多かったのではないのでしょうか。私も、予選会において本市を駆け抜けた選手たちへの親近感もあり、テレビの前から動けなくなった一人です。

年頭に当たって



特定非営利活動法人
立川市体育協会会長

河内 勝正



新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。皆様方には、日頃から当会諸事業に深いご理解と多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。お蔭さまで、本年度の事業も、計画どおり進み、主要大会としては、駅伝&少年ロードレース、立川シティハーフマラソンとサイクルフェスタinたちかわのみとなりました。このサイクルフェスタinたちかわは、本市で開催された東京多摩国体自転車競技を記念とした新事業であり、国営昭和記念公園にて3月7日に開催いたしますが、自転車の街、立川に相応しい市民参加型の大会を目指し大きく育てていく所存でお

様々なスポーツの分野において、市内の子どもの活躍も多く聞こえております。2020年東京オリンピック・パラリンピックを目指して日々頑張っている子どもたちも多いことでしょう。勝負が全てではありませんが、何かひたむきに打ち込んだ経験は今後の人生において大きな強みになります。

また多くの人が日々様々なスポーツに親しむことにより、健康づくりを進めながら仲間との交流を深め、活動の輪を広げることは、健康でいきいきとした生活を送る上で非常に有意義なことです。

適度な運動は健康に良いことですが、継続のためには、その取り巻く環境が重要と言えます。日頃より、市内の各地域でスポーツ振興にご尽力いただいている貴会の活動は、市民スポーツにとって欠くことのできない重要な役割となっております。

今後、貴会会員の皆様の一層のご支援をお願いする次第です。結びに本年も貴会の皆様のご健勝とご活躍、そして多くの市民の方がスポーツを楽しめることを祈念いたしまして、私の新年の挨拶といたします。

りますので、ご理解とご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

また昨年4月からは、泉市民体育館の指定管理者として管理運営に携わり、これまで以上に市のスポーツ行政に深い係わりをもって、市民がスポーツに親しめるよう関係各位のご支援のもと努めてまいりました。

この度、柴崎市民体育館の指定管理期間満了に伴う指定管理者募集に、泉市民体育館で培った実績と、創立以来68年に亘ってスポーツ振興を担ってきた知見をもとに応募し、第二次審査まで進みましたが、残念ながら我々の思いが届かずその夢は叶いませんでした。このことを糧とし、次の機会に向けてさらなる生涯スポーツの普及と体育協会の自立促進に取り組んでまいります。

当会は、2020年東京オリンピックを視点を地区体育会を母体とした新たな地域スポーツクラブ(教室)と当市独自のスポーツ指導者の育成システムの構築を軸とした第二次中期構想を昨年9月に策定いたしました。

今後、皆様のお力添えをいただき一つ一つ具現化を図ってまいりますので、皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

3月1日(日)

立川で春、先どり!!

立川シティハーフマラソン 2015

立川シティハーフマラソン 2015 平成27年3月1日(日)開催

併催される第18回日本学生ハーフマラソン選手権大会に出場する学生やニューカレドニア国際マラソンからの招待選手を含め、ハーフマラソン・3キロレース・親子ペアレースに約10,000人のランナーが走ります。沿道等での市民の皆さんのご声援をお待ちしております。当日は、みんなの原っぱに本部を設置し、各種イベントも予定しておりますので、是非お立ち寄りください。また、会場周辺で交通規制などがありますので、皆様のご協力をお願いいたします。

【ゲスト】



千葉真子



エリック・ワイナイナ

【競技時間】

- ・ハーフマラソン スタート=9:30
スタート場所=陸上自衛隊立川駐屯地内
- ・3kmマラソン スタート=11:30~
(カテゴリーによりウエイブスタート)
スタート場所=国営昭和記念公園内
- ・親子ペアレース スタート=13:00~(学年ごとスタート)
スタート場所=国営昭和記念公園内

【イベント】

- ・吹奏楽演奏 ・バンド演奏 ・和太鼓 ・チアリーダーなど

ハーフマラソン



日本陸上競技連盟公認コース(第8423号)
陸上自衛隊立川駐屯地清走路、国営昭和記念公園及びその外周道路

立川から・チャンピオンを

若干17歳で東日本新人王決勝戦において、新人王を獲得しMVPに輝いた選手がいます。現在、都立立川国際中等教育学校6年(石川ボクシングジム立川所属)。立川から全日本を目指すプロボクサー、粕谷雄一郎君がジムの石川会長と12月9日に清水庄平立川市長を訪問して、成果の報告をしました。「今後に向けて活躍を期待する」と激励をいただきました。



「石川ボクシングジム立川」が立川に移転して9年目を迎えた今年、待望の新人王が誕生しました。プロボクシング界の一大イベント「東日本新人王決定戦」で、S・フェザー級にエントリーした粕谷雄一郎選手(立川国際中等教育学校6年在学中)が、見事、東日本新人王に輝きました。

昨年1月にプロデビューし、11月2日後楽園ホールで迎えた決勝戦では、キックの元日本チャンピオン相手に堂々と打ち合い、満員の会場を熱狂させて、全階級の中から選出されるMVP賞も獲得しました。現在、5戦5勝(1KO)で、12月21日行われた全日本新人王決定戦で、2ラウンドにダウンを奪って、3-0の判定勝ちで本年度のスーパーフェザー級の全日本新人王になり、敢闘賞

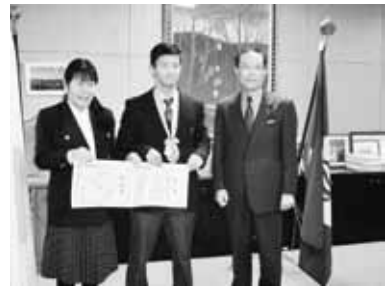
に輝きました。本人の談話「以前は、サッカーをしていましたが通学路にあるジムに興味を持ち、ボクシングを始めました。今は楽しくて、ボクシングに夢中です、これからも頑張りますから応援して下さい。」

に輝きました。

石川ジムでは、この夏、成田華選手が、アンダージュニアとU-15の小学生クラスの2大タイトルも獲得しました。「下記内容」

これからも「立川からチャンピオンを」の心意気で、ジム一丸となって頑張ってください。

石川ボクシングジム立川 会長 石川久美子



石川ボクシングジム立川所属の成田華選手(12)が2014年8月23日、大阪府立体育会館で行われた<第1回アンダージュニア王座決定戦>(アマチュアボクシング連盟主催)の開会式で選手宣誓の大役をつとめました。



大会本戦では、予選を勝ち抜いた東日本38キロ級代表と

して出場し、第1回アンダージュニアチャンピオンに認定されました。

また、2014年9月5日、東京後楽園ホールで行われた<第7回U-15全国大会>(日本ボクシング協会主催)では、東日本37.5キロ級代表として、西日本代表の前田宝樹選手と戦い、初回からの打ち合いを制し、見事に、この大会3連覇を成し遂げました。

「これからも頑張ります!!」(本人談)

パークランマラソン in 昭和記念公園 2015

ゲスト
大島めぐみ
西田隆維
M高史

子ども達のランニングスクールとしてゲストに大島めぐみさん(オリンピックランナー)、西田隆維さん(世界陸上代表選手)を迎え公園内の特設コースを走るハーフ&10kのマラソン大会です。

大会スケジュールの中に小中学生を対象とした「かけっこ教室」が設けられています。(トップアスリートが直接指導を行います。「無料講習会」(公園入場料は自己負担))

- 【日にち】 1月17日(土)
- 【会場】 国営昭和記念公園(東京都立川市緑町3173)
※JR中央線「立川駅」、青梅線「西立川駅」、西武拝島線「武蔵砂川駅」下車
- 【主催】 パークランマラソン2015 in 昭和記念公園実行委員会
- 【主管】 M3アシスト、オーランド
- 【協力】 J S V
- 【後援】 立川市体育協会
- 【種目】 ※参加費用には大会参加費+公園入園料(400円)を含む

- (A)ハーフの部(男子・女子)
〔参加資格〕中学生以上の健康な男女
〔参加費用〕4,500円
- (B)10kmの部(男子・女子)
〔参加資格〕中学生以上の健康な男女
〔参加費用〕3,500円

大会スケジュール	
9:30~10:30	(A)ハーフ (B)10km 選手受付
10:30	開会式
10:45	(A)ハーフ スタート
10:50	(B)10km スタート
11:00	ランニング講習会(かけっこ教室) スタート
12:00	ランニング講習会(かけっこ教室) 終了
12:05	(B)10km 表彰式
12:45	(A)ハーフ 表彰式
14:00	(A)(B) 競技終了



昭和49年・青少年の健全育成と体位向上及び親善をスローガンに、尾崎玄三氏を会長に迎え、立川市少年野球連盟が発足した。翌年は6チームによる春季大会を開催し、昭和55年より二部「5年生」三部「4年生」リーグが新設された。昭和59年に創立10周年の記念行事を開催すると共にアメリカチームを招き、第1回国際交流試合を行い、又この年「第1回東京都市町村大会」が開催されオール立川チームが優勝した。その後、平成2年に東京都軟式野球連盟に加盟し、平成4年には立川アパッチが

立川市少年野球連盟 創立40周年記念

理事長 高橋 廣

「東京都学童軟式野球大会」で優勝し「関東大会」では準優勝と活躍、翌年には立川ファイターズジュニアが「学童野球大会」で準優勝と「市町村大会」で立川スネークスが優勝し野球王国立川をアピールした。平成6年に連盟20周年を迎え、再度アメリカチームを招き第10回国際交流試合を行った。平成12年は松中ファイターズが「市町村大会」で優勝、平成13年にオール立川が「第11回西東京オープン選抜大会」で初優勝を飾りました。

平成16年30周年を迎え、記念行事を行うと共にブラジルチームを招き国際交流試合を再開した。平成17年は会長尾崎玄三氏の勇退により、佐藤寿宏氏が第二代会長に就任する。平成19年はオール立川「第1回学童選抜府中大会」並びに「第17回西東京オープン大会」に優勝し二冠達成する。平成20年には女子チーム「レディス立川」を結成、平成22年立川市野球協会の支援を受け、姉妹都市長野県大町市へ遠征して親善試合を行った。この年立川メッツが立川市を代表して全日本学童野球大会に初参加をした。平成23年には清水孝治氏が第三代会長に就任、この

年はオール立川が「第21回西東京オープン」と「第9回KB東京大会」於いて優勝、レディス立川が「第4回三多摩女子大会」において優勝、立川のレベルの高さをアピールした。

平成24年に、木原 宏氏が第四代会長に就任。立川スネークス「第8回多摩みより・ジャビット杯チャンピオン大会」優勝。

立川市少年野球連盟40周年事業として、9月14日秋晴れの中、陸上競技場において木原 宏会長の号砲のもと、チーム別大運動会を開催し見事松中ファイターズが優勝した。子供たちは野球では見せなかつた顔を持っていました。

9月21日に、ザ・クレストホテルにて、清水庄平立川市長、小町教育長、河内体育協会会長、清水野球協会会長はじめ当連盟が大変お世話に成っている各団体の皆様をお招きして、総勢140名の出席を賜り盛大な式典を開催することが出来ました。当連盟は学童の部18チーム、中等部1チーム、にて編成しています。私達、指導者は、子供たちには技術はもとより野球のできる環境に感謝し、元氣よく挨拶が出来、仲間を思いやる心を持った子供に成長し、この中から一人でも甲子園球児が生まれることを希望(夢)として、今日もグラウンドに立っています。

バスケットボール 全国大会出場



H26ジュニアバスケット男子選抜

また、今秋、泉市民体育館で開催されたNB L公式戦、bjリーグ公式戦などの盛況ぶりからも立川市におけるバスケットボール熱のさらなる高まりを感じることができました。

【目的】
(1)競技力向上をめざした選手育成とバスケ

立川市内の中学校は市立中学校9校の他に、都立立川国際中等教育学校と西東京朝鮮第一初・中級学校の2校を加えた11校で構成されており、そのすべての中学校にバスケットボール部があります。今年度も東京都および立川市体育協会のご支援により、本協会では下の目的を達成するために、「バスケットボールクリニック」と「立川市中学生選抜招待バスケットボール大会」を中心に行いました。今年度、香川県で行われた全国中学校大会に八中男子が出場を果たしたことは、本事業を地道に継続してきた成果と言えると感じます。



H26ジュニアバスケット女子選抜

- ② 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた市民の意識高揚
 - ③ 青少年の健全育成
 - 【バスケットボールクリニック】
 - (1) 全国レベルの高校生とその指導者による講習会
 - (2) 元オリンピック選手による講習会
 - 【立川市中学生選抜招待バスケットボール大会】
- 立川市中学生の男女選抜チームを編成し、近隣五市(国立・国分寺・小平・小金井・昭島)の選抜チームと交流試合を行う。
- 立川市バスケットボール協会
永井一彦(立川八中)

第68回 立川市民体育大会

地区対抗種目得点表 12月25日現在

種目	富士見町体育会	柴崎町体育会	錦町体育会	曙町体育会	高松町体育会	羽衣町体育会	砂川体育会	栄町体育会	若葉町体育会	西砂川地区体育会	幸町体育会	柏町体育会
軟式野球	3.0	10.0	5.5	5.5	5.5	3.0	3.0	3.0	9.0	5.5	11.0	8.0
ミニテニス	9.0	3.0	11.0	8.0	3.0	5.0	7.0	4.0	10.0	3.0	6.0	3.0
ソフトボール	男子	8.0	9.0	11.0	5.5	5.5	3.0	-	10.0	3.0	5.0	-
	女子	8.0	3.0	5.5	5.5	-	11.0	-	9.0	3.0	-	5.5
水泳	男子	7.0	3.0	10.0	5.0	3.0	3.0	11.0	3.0	4.0	6.0	9.0
	女子	6.0	3.0	9.0	5.0	3.0	3.0	10.5	3.0	7.0	4.0	8.0
ゲートボール	10.0	-	9.0	11.0	3.0	3.0	8.0	3.0	7.0	4.0	6.0	5.0
陸上競技	男子	7.0	3.0	11.0	3.0	4.0	8.0	5.0	3.0	10.0	3.0	6.0
	女子	11.0	4.0	9.0	3.0	5.0	7.0	3.0	-	10.0	-	8.0
バレーボール	男子	3.0	5.5	10.0	3.0	3.0	3.0	8.0	5.5	11.0	5.5	9.0
	女子	10.0	8.0	11.0	3.0	3.0	-	5.5	3.0	5.5	5.5	9.0
テニス	5.0	6.0	3.0	3.0	4.0	8.0	3.0	7.0	9.0	3.0	11.0	10.0
卓球	男子	4.0	5.0	7.0	3.0	10.0	3.0	11.0	8.0	3.0	9.0	6.0
	女子	-	5.0	6.0	3.0	8.0	3.0	10.0	4.0	9.0	3.0	11.0
バドミントン	男子	7.0	4.0	6.0	3.0	3.0	9.0	11.0	3.0	8.0	5.0	10.0
	女子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駅伝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計得点	98.0	71.5	124.0	69.5	63.0	72.0	96.0	68.5	108.5	62.0	114.5	94.5
順位												



シニアゲートボール 全国大会出場

第30回全国選抜大会・東京予選会が、9月20日(土)日野市浅川スポーツ公園サッカー場において、39チーム参加し開催された。シニアの部において立川こぶしチーム6名(主将・荒、坂本、村野、野谷、荻生、戸島)が出場して予選本戦、トーナメントと4連勝で突破し、6年ぶりに見事優勝。2015年5月23日(土)〜24日(日)に宮城県蔵王町で開催される全国大会への出場権を獲得した。

シニアレディースの部は、予選2勝1敗で敗退した。

なお、第19回シニア健康スポーツフェスティバル・TOKYO・GB競技が、10月29日(水)、駒沢第二球技場において開催され、予選リンク戦を2勝で通過し、トーナメント戦も勝ち進み、決勝では江戸川と対戦し、内容差で準優勝となった。選手(主将・荒、坂本、戸島、野谷、吉井、矢野、吉村明)。その結果2015年10月17日(土)〜20日(火)山口市で開催される「ねんりんピックおいでませ!山口2015」への出場権を獲得した。2大会への出場選手に声援を送りましょう。



平成26年度 ジュニア育成地域推進事業

目指せトップアスリート （テニス）

連盟では中学生を対象にテニスに親しむ環境を用意し、テニスの楽しさを知り競技力を身に付けると共に心身の健全な育成を目的とし、合せて地域のジュニア選手の発掘と技術力の向上の為に、東京都ジュニア育成支援が始まる前から立川市教育委員会及びNPO法人立川市体育協会の支援により「中学生テニス教室」を毎年開催しております。

教室にはテニス連盟として技術指導員並びに指導員補助を派遣すると共に、特別指導コーチとして元プロテニスプレーヤーで日本体育協会公認のマスターコーチ中村吉人さんをお招きし、基本から実践までそれぞれのスキルレベル

に応じた教室を実施しております。

テニスの基本はフットワークやラケットワークなどの動作が重要です。

教室の内容として初心者基本動作を主とし、テニスにおけるマナーの習得などを丁寧に指導しております。

また、上級者に対しては技術的なチェックを行いながらボールを沢山打ってもらい自分なりの打球感覚を身に付けると共に思い通りのボールを打てるような反復練習を中心に指導しております。

トップアスリートは一朝一夕に育つわけではなく、日々の練習の積み重ねが必要です。

次代を担う子供たちが教室を通してテニスに対する夢や憧れを抱き、トップアスリートを目指して自らテニスに取り組みきつかけとなる一端にテニス連盟が寄与出来ればと思っております。

立川市テニス連盟
会長代行 川島 進

陸上競技

今年度も昨年に引き続き陸上教室を4月第2日曜日から10月第3日曜日までの毎週日曜日に7ヵ月間、立川公園陸上競技場で実施しました。教室での指導内容は、紙のバトンを潰さないように軽く握って、無駄な「ちから」を抜いて、バトンが顔の前に見えるように大きく腕を



振って走ることを練習しました。

そして自分の走る姿をビデオに撮り、すぐ映像を見て良くなった箇所や、修正する箇所を確認します。そうして「体力の向上」や「正しい姿勢で走ること」の技術を身に付けることができました。記録会も3回実施し、各自が走る（50m・100m・800m・1500m）、跳ぶ（走幅跳・走高跳）、投げる（砲丸投・ジャベリックスロー）などの種目に挑戦して記録を伸ばしました。

参加者は未就学から壮年まで老若男女の多くの方が来ています。立川市内はもとより近隣の市からの参加も有りました。平成27年1月18日（日）は駅伝&小・中学生ロードレース大会を立川市役所をスタート・ゴールとして実施いたします。

立川市陸上競技協会
理事長 飯塚 智子

立川市小・中学生ロードレース大会（2km）

平成26年度 東京都ジュニア育成地域推進事業

日 時	平成27年1月18日（日）（雨天決行） A 午前10時55分 B 午前10時57分スタート（予定） 降雪・積雪・悪天候・災害等で競技ができない状態のときは中止します。
場 所	立川市役所（泉町1156の9）スタート/ゴール（2km）
主 催	東京都・東京都体育協会・NPO法人立川市体育協会 立川市陸上競技協会
後 援	立川市・立川市教育委員会・読売新聞東京本社
参加資格	立川市・立川市周辺の小学3年生以上の男女 400名

ジュニアバドミントン教室

平成26年12月6日（土）に立川市柴崎市民体育館にて、中学生を対象としたジュニアバドミントン教室を開催しました。当日は講師にヨネックスの柏原未久さんを迎え、参加した51名の中学生は技術指導等を学びました。

ヨネックスの柏原さんの指導は、楽しく！そしてショット練習の前にひとつひとつポイント

トを詳しく説明する等わかりやすい教え方で、中学生も練習に取り組んでいました。
ジュニアバドミントン教室は、ジュニアの育成には重要な事業であるため、来年度以降も実施し、中学生の技術向上を行っていききたいと思っております。

立川市バドミントン協会
総務部長 秋元公貴



平成26年度 シニアスポーツ振興事業

生涯スポーツとしてのテニス

シニアテニス教室は立川市教育委員会及びNPO法人立川体育協会の支援で東京都の補助を受け、毎年テニス連盟の主管において開催しており、今年で4回目を迎えております。この教室の目的としては、少子高齢化が進む中、シニア世代の生涯スポーツとしてのテニスに親しんでいただきながら、健康維持といった側面も合わせもっており、毎年、多数の方が参加されており、シニアテニス教室は体を動かすことでの爽快感、達成感、満足感等といった精神



的な充足をはじめ、教室の中で人とのふれあいを通し、人間相互の連帯感を育むと共に、健康の保持・増進や体力の向上を図りシニア世代の生活や生涯に豊かな活力と充実をもたらすものと確信しております。また、教室以外でもシニア世代を対象としたスポレクフェスタや市民大会のシニア部門も開催していますのでお気軽に参加してみてもいかがですか。

立川市テニス連盟

会長代行 川島 進

ゲートボール大会

本年も東京都からの支援を受けシニアスポーツ振興事業として進められております立川市ゲートボール協会実行での春季・秋季ゲートボール大会は、砂川北多目的広場を利用して大勢のご来賓をお迎えしてグレードアップした競技を行うことができました。春は、5月14日に、また秋は10月8日に例年通り開催され、いずれも100名ほどの参加者が集り、5名組織のチームが春は20チーム、秋はやや減って17チームで競技が行われました。予選6試合の後、トーナメント戦での決勝大会が夕方まで行われ、終日各地区の腕自慢のゲートボールラーが頑張り優勝から第4位までの入賞を目指して熱い戦いが行われました。今年春の大会では、ベスト4迄が全て曙町地区が独占制覇、



替わって秋の大会では、上水、幸緑会、西砂、南富士見と曙以外が善戦入賞し、市内全体が盛り上がりました。入賞したチームには、大型のメダル等が授与され、大会の華やかさを飾りました。シニアスポーツ振興事業での支援を受けます大きな大会に発展することと思いません。

立川市ゲートボール協会

会長 吉井 保子

第3回 シニアダンススポーツ 競技大会を終えて

今年もシニアスポーツ振興事業としての大会が泉市民体育館第二体育室にて開催されました。

春のスポレク、秋のシニアダンス大会など3回目となり、参加者もTシャツやポロシャツ又サークル等で着用の練習着と、思い思いに気楽に参加し楽しんでもらえるようになりました。ミニコンペは「スタンダード」



「ラテン」各2種目を即席ペアでチームを編成、14チームで予選、決勝と競い全員に大変好評、なお花の参加賞をいただきました。

又、技術発表(トライアル)はサークル等お仲間同志でペアを組んでもらいワルツ・タンゴ・ルンバ・チャチャチャと今回からスロー・サンバが加わって6種目、7・8組を1ヒートとで競技会風に踊ってもらいました。

これも多くの参加者があり今年も大変良い結果に大会を終えました。

立川市ダンススポーツ連盟

会長 稲田 義四千

第3回

立川シニア野球大会の回想

参加四チームは、立川ベテランズ、立川シルバースターズ、立川浪漫ならびに村山キングスで、選手総員54名でした。しかしながら、前日の雨のため予備日10月24日に変更しての催しとなりましたので、参加出来なくなった方々がたのは残念なことでした。記念撮影を終えた後、立川シニア野球連盟会長・高橋勉様の開会の挨拶をいただき、選手代表・内藤明氏の宣誓をおこなって試合に入りました。

さて、ここに熱戦のひとつを披露させていただきます、この大会の目的である健康増進・仲



立川市シニア野球連盟
大会実行委員長 野見山 巖

間同士の友好を図ることに寄与していることを拝察していただければ幸いに存じます。
「カーン」力強く振り切った打球は、快音を残して左中間へ飛んだ。ランニングホームランになると思った攻撃側のダッグアウトからの大きな声援は、やがて走者の失速とともに失望の野次となった。「走れ、早く来い」コーチは檄を飛ばす。やっと三塁に到達した走者は言い返した「お前見たか！おれの打撃をみたか？あの球を打つにはあのスイングしかないのだ」と。彼の満足そうな顔は西日に映えて見えた。末筆ながら、立川市体育協会のご指導とご支援を頂き無事終了することができましたことに感謝し、併せて、関係者の皆様のご協力を御礼申し上げます。

立川国際中等教育学校バドミントン部 関東大会出場

東京都立立川国際中等教育学校 佐藤 亮一

私たち東京都立立川国際中等教育学校バドミントン部は、前期生(中学1年生～3年生に相当)と後期生(高校1年生～3年生に相当)からなる部活です。部全体で、70名近くの部員が所属する大所帯です。

前期・後期がまったく別々の部活として活動しているわけではなく、普段の練習から定期的に同じフロアで一緒に練習を行います。基礎的なトレーニングや基礎打ちなど、全員が同じメニューで練習することもあります。

前・後期生が同じ場で活動する時間が長いので、後期生がコーチ役となって前期生を教える場面もたくさんあります。初心者は先輩の適切なアドバイスを受け上達しますし、一定以上の経験者は後期生相手にシャトルを打ち合い、さらなるレベルアップを図れます。

また、本校バドミントン部の卒業生(大学のバドミントン部に所属)がコーチとして練習に参加し、前・後期生に対し、技術指導だけでなく学校生活上のさまざまなアドバイスを行っています。

例年、後期生は、夏休みに4泊5日で合宿を行っています。今年も長野県の白馬に行き、体力づくりやスキルアップを図り、チームとしての結束力を高めることができました。なお、本校は中高一貫校であるため、3年生は夏休み前に前期の活動を“卒業”し、後期の練習に加わります。このため、合宿には前期生である3年生も参加しています。

▽今年度の公式戦の主な実績

◆前期課程

- ・都大会(春季大会)男子シングルス準優勝
- ・都ブロック大会(男子団体) 3位
- ・都ブロック大会(男子シングルス) 優勝
- ・都大会(男子シングルス) 準優勝
- ・関東大会出場(男子シングルス)

◆後期課程

- ・インターハイ予選(男子団体)
東京都西ブロックベスト4



5年前第44回市町村総合体育大会・南ブロック(八王子市)大会にも参加出来るようになりました。市民体育大会では町会対抗戦も

ております。

例年2月柴崎体育館で開催する「東京都民ダンススポーツ大会」併催開催の「ジュニアダンススポーツ競技会」、4月には泉市民体育館での「多摩ダンススポーツ大会」と多摩地域の要と地の利を得てどの大会も1000人を超す選手役員を迎えての大会を開催しております。

体協に加盟して30年「社交ダンス」から「ダンススポーツ」に改称して活動しております。

競技団体紹介
ダンススポーツ連盟の今

私共なりに初回より本年29回大会まで継続開催しております。
近年何よりも嬉しかったのは昨年の東京国体にデモンストレーション競技でしたが柴崎市民体育館で開催の「ダンススポーツ大会」を多くの市民・参加者と感動を得られたことでした。
清水市長の「より多くの人が動くことで経済が成り立つ」のご挨拶のお言葉を背にこれからも地域、市民の賛意を得ながら活動を続けて行きたいと考えております。

立川市ダンススポーツ連盟
会長 稲田 義四千



